

# 令和元年度 学校教育充実計画

播磨町立播磨小学校

## 1 はじめに

近年、子どもを取りまく環境は、情報化、グローバル化とめまぐるしく変化しています。将来を予測することが難しく、今の大人が経験したことのないことを、子どもたちが経験するかもしれません。このような状況を踏まえ、令和2年度からは新しい学習指導要領が全面実施となります。「特別の教科 道徳」3、4年生の「外国語活動」5、6年生の「外国語（英語）科」また「プログラミング教育」など、新たな取組をとおして、社会の変化に対応する能力を育てるとともに、子どもたちには、決して自分というものを見失うことなく、『生きる力』の基盤となる「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の基礎・基本を身につけ、来るべき未来社会をたくましく生き抜いてもらいたいと思います。

## 2 学校教育目標

「知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

## 3 スローガン

「はりまっ子 一人一人を大切に」

## 4 目指す像

### (1) 目指す学校像

- 安全で安心して笑顔で生活できる学校
- 一人一人が大切にされ学び支え合える学校
- 家庭や地域と連携・協働できる学校

### (2) 目指す児童像

- 基礎・基本を身につけ、自ら学ぼうとする子
- 協働しながら、お互いの良さを認め合える子
- 健康の維持増進を心がけ、体を鍛えようとする子

### (3) 目指す教師像

- 学びのプロ、教えるプロとして自覚のある教師
- 子どもと向き合い、厳しくそして優しく指導できる教師
- 子どもの心や保護者の願いに寄り添える教師

## 5 学校の取組

### (1) 子どもたち一人一人の学力を伸ばす学習環境

- ユニバーサルデザインの視点を採り入れた教室環境と教材づくり
- 学習環境における全学年共通となる「播磨小スタンダード」の推進
- 子どもたちのつまずきの解消をめざした授業研究の推進
- 「聞く・読む（読書と音読）・話す」の基本的スキルの徹底
- 伝え合い学び合える場の充実

(2) 協働による温かい人間関係づくり

- あいさつをはじめとするコミュニケーションスキルの育成
- 道徳教育・人権教育・特別支援教育の充実
- お互いの思いを伝え、良さを認め合える場の充実
- 異年齢集団による交流活動

(3) 健康維持と体力向上

- 食育と学校保健の推進による健康・安全意識の高揚
- 業間・昼休みにおける外遊びの推進（児童と教師・異学年）
- スポーツテスト・なわとび検定による自己目標の設定

(4) 教職員の資質向上と労働環境改善

- 低学年・中学年・高学年・特別支援学級及び専科の4チーム内での支援・指導体制
- 子どもと向き合う時間の確保と指導力の向上
- 計画的な校内研修実施と若手教員の育成
- 学校行事や会議の効率化による事務量の軽減と勤務時間の適正化

(5) 家庭・地域から信頼される学校

- 保護者との密なる連携強化（学校情報・児童情報・教育相談）
- 子どもたちを地域ぐるみで支援する「サポートチーム播磨」の推進
- PTA行事や町行事への教職員の参加
- 教育委員会を含む行政や警察、福祉・医療関係機関との連携強化

6 今年度の重点実践項目

- 「特別の教科 道徳」の時間を要として、道徳教育と人権教育を推進し、一人一人を大切にしたりより良い人間関係づくりに努める。
- 教職員研修を充実し、指導力と授業力を高める。
- 家庭・地域・関係機関との連携を深め、組織としての危機管理能力の向上に努める。

播磨小学校は、本年度開校147周年を迎える歴史と伝統のある学校です。  
播磨小のシンボルは、運動場の「くすのき」です。